

[数研出版 100 周年]

—チャート式シリーズ英語参考書のあゆみ—

100th

英語編集部

大正末期、「数研出版」の母体となる教育事業体「数学研究社高等予備校」が創設され、1923年(大正12年)出版事業の原点となる雑誌「受験数学」が創刊されました。「チャート式」の源流となる『チャート式代数学』、『チャート式幾何学』が発行されたのが1929年。その後、第二次世界大戦と戦後の荒廃期～高度成長期を経て、英文法参考書『チャート式シリーズ 基礎と演習 英語』が発行されたのは1976年のことでした。

1. 学校採用の市場の確立

1976年当時、世の中は4人に1人が4年制大学に進学する時代となっていました。それまで書店販売を中心としていた当社は、今後は学校そのものが、大学受験を前提とした教育体制に変革するであろうと予見し、高校で使用する学校採用教材の市場へと新たな方向性を打ち出しました。そのような中、初代社長自らの編集によって、これまでの英語文法書とはまったく異なる参考書『チャート式シリーズ 基礎と演習 英語』が発行されたのです。

「教科書や参考書は、研究者や学者目線ではなく、学習者目線で作られなければならない」という信条のもと、簡潔で明解な説明、平易かつ豊富な用例、要点を押さえた図解や表などが好評を博し、発行初年度から10万冊を超える採用をいただきました。現在のこのシリーズは『チャート式シリーズ 基礎からの新総合英語／新々総合英語』としてその流れを継ぎ、変わらぬご愛顧をいただいております。

2. ニーズに合わせたさまざまな工夫

現在の『チャート式シリーズ BIG DIPPER 高校英

語』の前身である『チャート式シリーズ LEARNERS' 高校英語』の初版発行は1991年。まだ文法参考書はB6判が主流の時代に、ひとまわり大きいA5判は斬新でした。自学自習が苦手な中堅校をターゲットに、ゆったりした紙面に親しみやすいイラストを配した本書は、「文法の基礎の理解と定着」というニーズに合致し、市場を確立しました。

また、1998年初版発行の『チャート式シリーズ DUALSCOPE 総合英語』は、各章を〈基本〉〈発展〉に分けた2部構成の参考書の先駆けでした。中学・高校を通じ、コミュニケーション活動などによって英語学習が多様化される中、「なんとか文法学習の時間を確保したい」と苦心される先生方のお話を伺い、「1年生で必修の基礎の文法と、入試対応の発展事項を分けて掲載すれば効率よく学習できるのでは」と考えたのが始まりでした。結果、その試みは学校現場で広く受け入れられ、今ではこの2部構成が、英語参考書の定番の1つとなっています。

3. 4技能重視・デジタル化の時代へ

2022年、前述の自社参考書の流れを汲んで発行された新課程版『チャート式シリーズ EARTHRISE 総合英語』『チャート式シリーズ BIG DIPPER 高校英語』には、リスニングや発音練習ができるQRコードを配し、教科書や文法テキストと連携して使えるデジタル版〔エスビューア〕も発行いたしました。

今後も英語教育界にはさまざまな変革が予想されますが、私たち編集部は、常に先生方・生徒の皆様のご要望にお応えしていきたいと考えています。

「数研出版100周年記念サイト」

100周年を記念してサイトを開設！

<https://www.chart.co.jp/100th/>



数研出版100周年を記念して、『リープ英単語』の100周年記念カバーを制作しました！

表面：特別デザイン、裏面：通常デザイン

のリバーシブル仕様となっています。

※2024年1月出荷分から、上記特別仕様カバーで納品いたします(冊数限定)。



←特別デザイン
(カバー表面)

通常デザイン→
(カバー裏面)

